

| No | 事業名 | 目的・概要 | 担当課 | 予算額（円） | | 実績額（円） | | 重要業績評価指標(KPI) | | | 事業効果 | 外部有識者からの評価 | | 今後の方針 | |
|----|--|---|-------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|---|---|---------|--|---|------------|------------|----------|---|
| | | | | 総額 | 内訳 | 総額 | 内訳 | 目標値 | 目標年月 | 実績値 | | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 方針 | 理由 |
| 1 | 世界に羽ばたけ！匠 の植木展開事業 | 本市の地域資源である植木を活用し、植木を軸にした産業・観光の振興を一体的に推進することにより、「匠の植木」の認知度向上や販売拡大、外国人を含む交流人口の増加を目指す。 具体的には、国外で開催される国際博覧会の参加や、都市部の公共交通施設（駅・空港等）におけるPRを通じて、外国人を含む多くの人に対して情報を発信する。 加えて、植木を観光資源とした植木めぐりツアー・まち歩きコースなどの観光コンテンツ作成や、インバウンド対策を視野に入れた外国語表記の植木ガイドブック作成、上記の植木めぐりツアー等の立寄り所となる市内観光スポットに植木見本園整備を行う。 | 産業振興課 | 13,000,000 | 【経費の内訳】 ①トルコ共和国アンタルヤでの国際園芸博覧会の出展（海外PR） ・会場利用経費、植木の運搬費、生産者の旅費等 7,000千円 ②交通拠点における植木の展示及び情報発信（国内PR） ・会場利用経費 羽田空港 300千円 東京駅 800千円 ・植木の運搬費、生産者の旅費等 羽田空港 20千円 東京駅 20千円 ③外国人向け植木PRガイドブック作成 ・内容作成、印刷製本費等 2,500千円 ④市内観光スポットにおける植木見本園整備 ・植栽費等 2,000千円 ⑤植木めぐりツアーの試験実施 ・バス借り上げ代等 360千円 | 11,469,131 | 【経費の内訳】 ①トルコ共和国アンタルヤでの国際園芸博覧会の出展（海外PR） 6,986,051円 ②交通拠点における植木の展示及び情報発信（国内PR） 0円（未実施） ③外国人向け植木PRガイドブック作成 2,484,000円 ④市内観光スポットにおける植木見本園整備 1,999,080円 ⑤植木めぐりツアーの試験実施 0円（未実施） | ①アンタルヤ国際展示博覧会を契機とした植木売買契約締結数 1件 ②植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの作成 2件（試験実施） ③植木めぐりツアー、まち歩きコースなど観光コンテンツの参加者数 20人（試験実施） ④外国人を含む観光客入込数（千葉県観光入込調査報告書） 10,200,000人 | 平成29年3月 | ①3件 ②2件（コース） ③0人 ④回答日現在で今年度報告書は未発表のため不明 | トルコに対する輸出について、平成31年度末までのKPI(2件)を既に達成し、現在も継続的な引合いがあるなど、想定以上の成果を上げている。 また、多言語ガイドブックや植木見本園の整備、植木めぐりコースの作成により、植木の観光資源化を進展し、今後の観光部門との連携の基礎・土台を構築できた。 | | | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り終了とする。引き続き植木振興を図るべく、本事業で得た成果を活用するとともに、観光など他分野・他業種との連携を含めて多面的な取組みを推進する。 |
| 2 | 匠 市版CCRC構想 策定等事業(飯倉地区) | 本市飯倉地区に認定こども園・特別養護老人ホーム・サービス付高齢者住宅等を整備し、これらを核として、雇用と地域住民と都市部からの移住者との交流等による賑わいを増やすための事業を検討する協議会を、事業主体である社会福祉法人九十九里ホームが設立する。これを運営する費用を支援する。 住民、金融機関、大学、福祉などさまざまな分野から参画する協議会にて策定した分野横断的な事業計画を、事業主体が推進することにより、雇用の場を提供するとともに、移住者と交流する環境を整備することに資する。 | 企画課 | 5,500,000 | ①地区内のさまざまな分野の地域特性と課題について、協議会からコンサルタントへの調査委託費。 ・事前調査外部委託費 1,000,000円 ②地域性と目的に即したまちづくりを行うための協議会運営補助。 ・協議会運営・進行事務等外部委託費 1,600,000円 ・住民参加ワークショップ開催費 400,000円 ③協議会主催の、会員と研究者・専門家との有識者等意見交換会費用補助。 ・有識者招聘、意見交換会事務費 1,000,000円 ④協議会会員による地方創生事例の視察費用補助。 ・交通費等 500,000円 ⑤事業計画書類について、協議会からコンサルタントへの作成委託。 ・計画図面等の作成 1,000,000円 | 4,616,805 | ① ・事前調査外部委託費 1,000,000円 ② ・協議会運営・進行事務等外部委託費 1,347,465円 ・住民参加ワークショップ開催費 400,000円 ③ ・有識者招聘、意見交換会事務費 658,554円 ④ ・交通費等 210,786円 ⑤ ・計画図面等の作成 1,000,000円 | ①事業計画案の作成 ②協議会開催 12回 ③住民参加ワークショップ開催 2回 ④有識者等意見交換会 2回 | 平成29年3月 | ①作成済み ②12回 ③2回 ④2回 | 本事業を通して事業計画案を作成したことにより、本市におけるCCRCに係る取組の方向性を確立することができた。また、事業計画案検討の中で、本取組の周知、地域住民等の理解や意見聴取等を図ることができた。 なお、KPIについては全て達成済みである。 | | | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り終了とし、事業成果を後継事業である「匠市版生涯活躍のまち形成事業」に活かし、さらに取組を具体化・発展させていく。 |
| 3 | さまざまな交通手段 の連携による県内観 光地へのアクセス強 化・観光プロモーション 事業 | 秋の観光シーズンに、成田空港からの高速バスを運行し、潜在的な需要を掘り起こすことで新たな観光ルートとしての認知度を高め、最終的には民間事業者の参入を促して成田空港利用客の県内観光地へのアクセス改善につなげる。具体的には9月17日から10月31日の期間、鴨川ルートと銚子ルートでそれぞれ運行する。銚子ルートでは成田市、香取市、銚子市、旭市、匠市で周遊し、そのうち匠市では、そうさ観光物産センター一匹の里及び飯高植林跡で停車する。 | 産業振興課 | 65,285,000円 うち匠市分 (1,975,000円) | ①バス運行費 36,825,000円 ②運行付随業務費 15,960,000円 ③広告宣伝費 10,000,000円 ④調査費 2,000,000円 ⑤運営管理費 500,000円 | 65,812,050円 うち匠市分 (1,800,519円) | ①バス運行費 34,875,000円 ②運行付随業務費 14,931,000円 ③広告宣伝費 8,964,000円 ④調査費 3,240,000円 ⑤運営管理費 1,477,894円 ⑥償還金、利子及び割引料 1,310,185円 ⑦運賃収入分還付 527,050円 ⑧需用費等 486,921円 | ①降車人数 300人 ②観光タクシー利用者数 150人 ③割引クーポン利用者数 200人 | 平成29年3月 | ①97人 ②38人 ③97人 | 運行期間での利用率は8%であり、周遊バスとしては採算性が厳しく、直ちに本格運行につなげることは難しいものの、利用者に対するアンケートでは回答者の9割が本格運行となっても利用すると回答しており、成田空港から県内観光地への移動手段として、バスのニーズ自体は高いものと推察された。また銚子ルートでは、期間中全便で574人の乗車があったが、そのうち97人が匠市で降車した。KPI目標値には届かなかったが、観光タクシーの運行や、タクシー利用助成券の配布により2次交通の充実を図り、市内観光を促進した。 | | | 予定通り事業終了 | 本事業としては予定通り終了とする。引き続き高速バスの運行については運行に向けて検証を重ねることとし、本市においても連携した観光誘致イベントを行っていく。 |